

授業科目名	統計学基礎	単位数	4	開設期	後期
担当教員	河田 正樹	授業区分	現代経済学科（選択必修科目）		
対象学生	1年生	備考			

①授業のねらい・概要

経済諸現象を数量的に把握するためには統計学の知識が必要となります。統計学は記述統計と推測統計とに大別できますが、この講義では記述統計を中心に学びます。記述統計とは、ある集団のデータについて、数値やグラフでその特徴を記述する方法であり、統計学の基礎的な部分です。株価指数の動きや貯蓄現在高の分布、打率や視聴率など、さまざまな場面で用いられています。

②学習の到達目標

経済データをはじめとする、さまざまなデータを目にしたときに、その特徴を浮き彫りにするにはどのように記述すればよいかを習得することが目標です。

2年次配当の『統計学』を履修する上で、十分な基礎知識を得ることになります。

③授業全体のすすめ方・指示事項

PowerPoint のスライドを用いた講義をおこない、その後で、講義内容の理解を助けるために練習問題をおこないます。

スライドはハンドアウトを配布するとともに、講義用 HP に掲載するので、必要に応じて参照してください。

記述統計は、実際に体験することが大事ですので、Excel を用いた実習も積極的に取り入れていきます。そのため、ノートパソコンが必要な時があります。持っていない人は用意してください。(用意できない場合は、やり方を覚えておき、各自後でデスクトップ PC で実習することになります。)

経済をはじめスポーツ、視聴率などの身近な実例を数多く取り上げていきます。必要な数学の知識は、四則演算(+・×・÷)、平方根($\sqrt{\quad}$)、中学レベルの一次関数です。

入学までに確率や統計をまったく学んだことのない人にも配慮した講義をおこなっていきます。

④授業計画

第1回	ガイダンス	第16回	2変量データの記述(3)
第2回	データについての理解(1)	第17回	2変量データの記述(4)
第3回	データについての理解(2)	第18回	2変量データの記述(5)
第4回	1変量データの記述(1)	第19回	2変量データの記述(6)
第5回	1変量データの記述(2)	第20回	2変量データの記述(7)
第6回	1変量データの記述(3)	第21回	2変量データの記述(8)
第7回	1変量データの記述(4)	第22回	2変量データの記述(9)
第8回	1変量データの記述(5)	第23回	2変量データの記述(10)
第9回	1変量データの記述(6)	第24回	推測統計の基礎(1)
第10回	1変量データの記述(7)	第25回	推測統計の基礎(2)
第11回	1変量データの記述(8)	第26回	推測統計の基礎(3)
第12回	1変量データの記述(9)	第27回	推測統計の基礎(4)
第13回	1変量データの記述(10)	第28回	推測統計の基礎(5)
第14回	2変量データの記述(1)	第29回	推測統計の基礎(6)
第15回	2変量データの記述(2)	第30回	まとめと復習

⑤成績評価の方法

期末試験の成績と、講義中に出す何回かの課題によって評価します。出席状況などに応じて若干の加点・減点をおこないます。詳細は初回講義において説明します。

⑥成績評価の基準

成績評価の項目	具体的な内容与方法	評価割合 (%)
定期試験（期末試験）	試験期間に期末試験を実施します。	60
レポートや提出作品の評価	何回か課題を出します。提出期限に遅れたものは、その程度に応じて減点します。	40
平常点評価 (小テスト、発表、グループ作業の成果、授業態度)	出席状況などに応じて若干の加点・減点をおこないます。	加点・減点
計		100

⑦教科書	使用しません。講義スライドのハンドアウトを配布します。	
⑧参考書・指定図書等	松原 望『わかりやすい統計学』(第2版) 丸善 1890円 D.ロウントリー『新・涙なしの統計学』新世社 1680円 佐竹 元一郎・野口 和也『統計理論入門』中央経済社 3059円 森田 優三・久次 智雄『新統計概論』日本評論社 3570円	
⑨メッセージ	講義用 HP(http://www2.tokuyama-u.ac.jp/kawada)も参照してください。	